JP AAWG JAPAN ANTI-ABUSE WORKING GROUP

M3AAWG ドキュメント解説
~ Sender Best Common Practices ~

HENNGE株式会社

中津 圭輔



Sender BCP とは#1

- Sender Best Common Practices
- https://www.m3aawg.org/sites/default/files/doc_files/m3aawg-sender-best-common-practices-aug-27-2026--1-.pdf
- M3AAWGウェブサイト -> For the Industry -> Best Practices
- メール送信者が自らの透明性と信頼性を高め、メールボックスプロバイダー(MBP)やメール受信者自身に正当なメールと認識してもらい・到達性を高める標準指針
  - **到達を保証するものではない！！**
- どんな人向け？
  - メール配信担当エンジニアから、施策を決めるマーケターや管理者まで

Sender BCP とは#2

- 様々なサービスやMBPのPostmasterページで引用されていたり、BCPに記載されている内容と同等の基準が求められています。
  - Google: Email sender guidelines
  - iCloud: iCloudメールのpostmaster情報
  - Salesforce (Salesloft): Bulk Email Sender Requirements
- バージョンの変遷
  - Version 1.0：2007年：初版、オプトインやSPF等
  - Version 2.0：2011年10月：DKIM / FBL等追記
  - Version 3.0：2015年2月：DMARC等追記
  - Version 4.0：2026年8月（最新版）

Version 4.0 における主な変更点（アジェンダ）

1. 全体構造の整理
2. 送信ドメイン認証要件の高度化
3. ドメインレピュテーションへの言及
4. リスト管理・ユーザー保護の強化

主要変更点#1 全体構造の整理

- Version 4.0では次の2つの大きな構成で記載されている。
  - Best Practices for Infrastructure Management：インフラ
    - Email Authentication
    - NDR Handling
    - ドメインレピュテーション
  - Best Practices for Address Collection and Management：配信リスト運用
    - ダブルオプトイン
    - 明確な同意
    - ワンクリック購読解除

主要変更点#2 送信ドメイン認証の高度化

- Version 3.0からの進化
  - 主要MBPの受信要件（DMARCアライメント等）の遵守を明記
- レガシー技術の正式廃止
  - Sender IDに関する記述を削除
- 実務・運用要件の追加（General Recommendations）
  - 配信前に認証失敗の有無を評価し是正
  - セットアップ時だけでなく継続的に顧客のDNSレコードを検証
- ドキュメント内での位置づけ
  - 本編冒頭に配置され、到達性における最重要要件として位置づけ

主要変更点#3 ドメインレピュテーションへの言及

- Version 4.0で新しく追加された内容
  - 旧来のIPアドレスを中心としたウォームアップではなく、Email Authenticationに紐づく「ドメイン」を中心としたレピュテーションに世の中が変わってきている現れ。
- ウォームアップの推奨として以下の記載
  - 送信量（Volume）：低ボリューム・低速度で開始
  - 送信頻度（Frequency）：定期的な配信で実施
  - モニタリング（Warmup Monitoring）：ブロックの兆候が見られたら速度調整
- レピュテーションの向上には平均6週間の記載

主要変更点#4 リスト管理・ユーザー保護の強化

- 同意の上でのメールアドレスの収集と管理についてはVersion 3.0/4.0に記載があり、その重要性に変更はなし
- Version 4.0では以下の内容が新たに追加
  - リストボミング（List Bombing）
  - RFC 8058に基づくワンクリック購読解除
  - コールドメール（Cold Email）

Sender BCP まとめ

- Sender Best Common Practicesは「送信者の責任規範」
  - 【インフラ管理の責任】認証の高度化とレピュテーション管理
    - DMARCアライメントを意識した認証の標準化（SPF / DKIM / DMARC）
    - 段階的なドメインウォーミングによるドメインレピュテーションの構築
  - 【アドレス管理の責任】確実な同意取得とボット・悪用対策
    - 明示的同意（オプトイン）の徹底（暗黙の同意・コールドメールの排除）
    - リストボミング（ボット攻撃）対策とRFC 8058（ワンクリック解除）の導入

Thank you

